



慣れない踊りにも挑戦し交流を深め合いました

互いの文化学び合う交流

タマサート大学生ホームステイ

タイ国・タマサート大学生ら14人が10月19日から28日まで、市内でホームステイを行いながら、日本の文化を体験、学習しました。

滞在中は、ホストファミリーと交流したほか、市内の保育園や学校を訪問し、子どもたちとの触れ合いなどを体験しました。23日は、日タイ文化交流会が開かれ、両国の芸能・食文化を紹介し合いました。会の終盤では、学生と出席者が混じって、さんさ踊りやタイダンスを共に楽しく踊りました。

つくる楽しさ肌で感じる

八幡平体験工房まつり

八幡平体験工房まつりが10月20、21の両日、大更公民館などで開かれました。

まつりでは、大更地区と安代地区にそれぞれ体験工房が準備され、来場した人は、そば打ちや小物づくりなどを楽しみました。ものづくりを通して、互いに交流を深める姿も見られ、普段できない体験に皆さん満足そうな表情を浮かべていました。また、田山の恵み軽トラ市も同期間中に行われ、売り切れの品が出るなど、多くの人が市を訪れた2日間となりました。



ひとつひとつの作業に真剣に取り組んでいました



祭壇に献花し恒久平和の誓いを新たにしました

平和を次世代にもつなぐ

市戦没者追悼式

市戦没者追悼式が10月17日、西根地区市民センター大ホールで行われました。

式には、遺族ら約210人が参列。先の大戦などで戦死した837人の冥福を祈りながら、全員で黙とうを行った後、田村市長が式辞を、市遺族連合会の高橋清志副会長らが哀悼の言葉を述べました。参列者は、戦争で亡くした家族らをしのんで、白い菊を祭壇に献花し、手を合わせながら、恒久平和の誓いを新たにしました。

素晴らしい作品がズラリ

市芸術祭

市芸術祭の作品展示と舞台発表が、10月27、28の両日、松尾地区公民館などで開かれました。

作品展示には、一般の人や園児、児童、生徒から絵画や書道などの作品約1,100点が出品されたほか、同公民館では、同好会によりお茶が振る舞われました。また、28日は、松尾中体育館で21団体による歌謡や踊りの発表も行われ、来場者は芸術の秋を楽しみました。

なお、演劇発表「父との夏」は12月2日、安代小体育館で行われます。



多くの芸術作品の鑑賞に話が弾みました



趣向を凝らした発表も見どころのひとつでした

各校とも豊かな音を表現

市小学校音楽発表会

市小学校音楽発表会が10月11日、市総合運動公園体育館で開かれました。

発表会には、市内11校、約550人の児童が参加。合唱や合奏、鼓笛、吹奏楽など23曲目が発表され、今まで練習をしてきた成果を十分に発揮しました。講師として招いた赤沼利加さん(キャラホール少年少女合唱団・指導者)は、各小学校の良かった点をひとつひとつ挙げ、「とてもいい時間を一緒に過ごせました」と、微笑みながら子どもたちに語りかけました。

食欲の秋をみんなで満喫

八幡平紅葉まつり

八幡平紅葉まつりが10月13、14の両日、フォレストアイ駐車場で開催されました。

まつりでは、各種屋台やフリーマーケットが並んだほか、チェーンソーアートの実演や丸太早切り競争、ジャンボドックの早食い競争が行われました。また、一関の「祝いもちつき振舞隊」と来場者が一緒に餅つきを行い、出来上がった餅の配布には長蛇の列ができました。飛び入り参加で踊りを披露する人も現れ、会場は大いに盛り上がりを見せました。



会場のちびっ子たちも餅つきをお手伝い

すなっぷギャラリー



アンパンマンたちと一緒に交通安全を学びました(10月20日、アリーナまつお)【撮影:小野寺幸子】



大更保育所の園児が自分で植えたサツマイモの収穫を楽しみました(10月16日、サラダファーム内)



バンクーバーパラリンピック日本代表・横澤高徳さんが市PTA研修会で講演(9月29日、松尾地区公民館)



宮古市の田老地区体育大会に市からも多くの人が参加しました(10月7日、田老第一中学校)



名誉市民の江間章子さん生誕100周年を控え碑文前で歌唱(10月1日、ポエトリーガーデン)